







議長室から

されてからの年月においても、自分が何合目にいるのかで見える光景が異なるように思いますので、いまは8合目からの眺めをここで書かせていただいているのであり、またこの機関紙「こころ」の一読者として、このような

### 神様の方からの声

総会議長 立山忠浩

視点で読ませていただくと、異なるところに立って見えていることを教えてもらえるからです。

3月号では退職される牧師たちの声に、10合目に到達したからこそ言える感謝と後進たちへの重みのある言葉を感じ、4月号では、これから登り始める山を見つめ、目標

個人的なことですが、2年前に還暦を過ぎました。日本人の平均的寿命からすれば、いま8合目あたり立っていることになり、また、牧師に召されて32年が過ぎました。定年を10合目の頂とすれば、これまた8合目に到達したことになり、山登りに例えれば、人生においても、牧師に召



## 宗教改革500年に向けて ルターの意味を改めて考える (59)

ルター研究所所長 鈴木 浩

ここで宗教改革の発端となった『95箇条の提題』を見てみよう。それは95個の箇条書きからなっている一枚の大きなヒラで、それが掲示されたヴィッテンベルクの「城教会」のドアには現在、その全

文が刻印されている。『95箇条』は、「私たちの主であり師であるイエス・キリストが『悔い改めよ』と言われたとき、主は信じる者の全生涯が悔い改めであることを望みたまうたのである」と

にむかつて邁進しようとする新鮮で、力強い声に力づけられるのです。牧師たちの説教、コラムなど様々な中堅牧師や信徒の声からも多くのことを学んでいます。新しい知識を得るだけでなく、私と同じものを見ていなが

を予定しています。互いに異なる歴史や教理を持つていられるわけですが、それはそれぞれのところで見て来たものの結晶なので、学ぶことはきつとたくさんあるのです。このことは聖書についてはなおさら言えることです。

ら、異なるところに立って見えていることを教えてもらえるからです。このことは他教派や他のルーテル教会、さらに広げれば他宗教や様々な思想にも敷衍できることでしょう。今年はいくつかの他教会との合同礼拝

いま私たちは四旬節を送っています。十字架を主題にした絵画を鑑賞することがありますが、フランス人画家のサルバドール・ダリの描いた十字架は実に印象的です。通常は人々の視線から十字架を描くのですが、彼

の場合には十字架の上から見える光景となるのです。主イエスの顔や全身の姿ではなく、頭を垂れたイエスの頭の上から見える十字架がモチーフになっているのです。

聖書は、神様の方からの視点で書かれているのです。「十字架の神学」を標榜するルーテル教会は、なおさら十字架の方から聞こえて来る声を敏感に聞くのです。自分の苦しみだけでなく、この世の苦悩や悲しみを一身に背負う苦痛の声。愚かな私たちの罪のためのとりなしの声。外からの真摯な声に耳を澄ますことを大切にしたいものです。

ある。だから、続く第2箇条は、「この言葉はサクラメントとしての改悛(すなわち、司祭の職務によって執行される告白と償罪)についてのものではできない」となっている。

ある。だから、続く第2箇条は、「この言葉はサクラメントとしての改悛(すなわち、司祭の職務によって執行される告白と償罪)についてのものではできない」となっている。

改めよ」という意味であったのだが、中世の「七つの秘跡」(洗礼、堅信、結婚、叙解、聖体拝領、告解、終油)という体系が出来上がる時、「ペニテンティアム・アギテ」は「告白(ぎんげ)を行え」という意味で受け取られるようになった。

ルターは第1箇条で「ペニテンティアム・アギテ」という言葉の本来の意味を回復しようとしたので



ヴィッテンベルクの城教会のドア

ルターは第1箇条で「ペニテンティアム・アギテ」という言葉の本来の意味を回復しようとしたので

### 2017年度 日本福音ルーテル教会 人事 (敬称略/50音順)

- 【西教区】
  - ・加納寛之 岡山教会 (主任)
  - ・松江教会 (主任)
  - ・高松教会 (主任)
  - ・鈴木英夫 西条教会 (主任)
  - ・松本義宣 西宮教会 (主任・兼任)
  - ・秋山 仁 豊中教会 (主任)
  - ・喜望の家 (兼務)
- 【九州教区】
  - ・小泉 基 唐津教会 (主任・兼任)
  - ・岩切雄太 小城教会 (主任・兼任)
  - ・中村朝美 宮崎教会 (主任)
  - ・待機 山田浩己
  - ・休職(継続) 後藤由起
- 【東教区】
  - ・徳野昌博 横浜教会 (主任・兼任)
  - ・横須賀教会 (主任・兼任)
- 【東海教区】
  - ・齋藤幸一 沼津教会 (主任・兼任)
  - ・奈良部恒平 復活教会 (主任)
  - ・高蔵寺教会 (主任)
  - ・室原康志 挙母教会 (主任)
- 【J3宣教師新任】
  - ・エマ・ネルソン ルーテル学院中学・高校
  - ・ランダル・タレント 九州学院
- 【J3宣教師退任】
  - ・(2017年3月31日付) 九州学院
  - ・ザック・コービン
- 【その他】
  - その他
  - ▽教会委嘱 (2017年4月1日付)
    - ・1年間 明比輝代彦 掛川・菊川教会
    - ・乾 和雄 西宮教会
    - ・北尾 一郎 横浜教会
    - ・鷺見達也 横須賀教会
    - ・中村 圭助 復活教会
    - ・渡邊 進 沼津教会
    - ・藤井邦夫 宇部教会
    - ・白髭 義 甘木教会
    - ・内海 望 津田沼教会

#### お知らせ

日本福音ルーテル教会と日本カトリック司教協議会とが共同主催し、「宗教改革500年共同記念」平和を実現するものは幸い」が2017年11月23日(木)10時~15時、カトリック浦上教会にて開催されます。ご参加に際して、入場整理券が必要となります。お申込みはインターネットで受け付けます。  
<http://500peacejels.net/>





# 日本福音ルーテル教会九州教区 熊本地震救援対策本部活動報告

日本福音ルーテル教会九州教区救援対策本部 岩切雄太・小泉基

熊本地震の2度の大きな揺れ(2016年4月14日・16日)は、被災住宅18万棟以上という甚大な被害をもたらしました。202名(2月14日現在)の尊い命が奪われ、県下で4万人以上の方々が、現在も仮設住宅やみなし仮設等での不便な暮らしを余儀なくされています。



被災した益城町

今回、日本福音ルーテル教会九州教区救援対策本部(以下「できたしこルーテル」)の1年間の活動報告にあたり、今なお悲しみのうちにある方々が一日も早く癒されることを、また困難な生活を余儀なくされている方々が一日も早く安心して生活を送られることを祈ります。

また、被災地である熊本に寄せられました皆さまからの厚いご支援に、心より感謝いたします。

2017年2月末現在の熊本地震支援募金は3624万534円で、その内訳は、生活支援451万7848円、建築支援3172万2686円となっています。これまでの活動を振り

⑤国際協力NGOわかちあいプロジェクト/認定NPO法人チャイルド・ファンド・ジャパンと連携して行う生活支援について協議。

## 第2期：広安愛児園・こどもL.E.C.センター内避難所/健軍教会避難所支援(4月21日～6月30日)

①広安愛児園・こどもL.E.C.センター内避難所(最大400名)/健軍教会避難所(最大50名)。

②わかちあいプロジェクトの専従スタッフ(牧野孝さん4月24日、東ゆきみさん6月1日)と協働(編集注:心を合わせて共に働く)、

## 第1期：緊急支援(2016年4月14日～4月20日)

①地震直後から九州全域の被災状況の確認を行い、被害の大きかった熊本市内を中心に支援活動を開始。

②熊本市内のルーテル教会・施設から求められた緊急支援物資を北部九州等で購入し運搬(5便)。

③日本福音ルーテル教会と協議し、現地救援対策本部(できたしこルーテル)を組織(4月17日)。

④熊本市内のルーテル教会(5教会)、ルーテルの学校(2学校)・幼稚園保育園(7園)・社会福祉法人(2法人)との

情報共有。

※5月・126名/6

月・64名(延べ人数・救援対策本部メンバー含む)

## 第3期：片づけ支援等(7月1日～8月31日)

①広安愛児園・こどもL.E.C.センターに設置

させていただいたプレハブを拠点にし、わかちあいプロジェクトと協働して、益城を中心に瓦礫撤去等の片付け支援を展開。

※7月・50名/8月・35名(5月～8月の延べ人数は275名)。

②チャイルド・ファンド・ジャパンによる小冊子「被災地の親と子ども心のケア」(熊本県内500園の約5万世帯に配布)の製作に、熊本ルーテル幼保連と連携して協力。

③熊本ルーテル教会の建物修復に関する(費用等)聞き取りを行い、熊本地震支援募金の建築支援(第1期分:1821万6163円)の配分を決定。



全国から送られてきた清掃道具

以上、主な活動について報告したが、ここに記した活動以外にも、現地である熊本のルーテル教会・ルーテル幼保・九州学院/九州ルーテル学院・社会福祉法人(慈愛園/キリスト教児童福祉会)が、震災直後から様々な支援活動を展開なさり、また現在も継続しておられます。「岩切記」

第4期：被災障がい者支援(9月以降)

益城町での片付け支援などの事業が終了していった後の、第4期の働きをどうしていくのか、いくつかの選択肢があるなかで、「できたしこルーテル」が取り組むことにしたのは、被災地において特に困難な状況にある被災障がい者の支援でした。熊本では、すでに組織されていた「被災障がい者センターくまもと」による先行的な取り組みがありましたが、日々寄せられる支援要請に充分に応えきれないという困

難な状況がありました。そこでわたしたちは、健軍教会に避難者として一時身を寄せておられた大山直美さんを雇用して、専従ボランティアとして同センターに派遣する、という取り組みを始めました。

センターには、日本障害フオーラムに参加する障がい者施設から1週間程を単位に組織的にボランティアが派遣されましたが、熊本の地理がわかり、継続して事務局機能を担うことの出来る大山さんは、程なくセンターの中心的な役割を担うようになられました。

被災地における障がい者の生活は、避難所ですべての生活のために支援物資を受け取れない。車イスで入ることのできる仮設住宅がない(後にバリアフリー仮設住宅を6戸のみ建設)、などの理由で、健常者の避難者とは比べものにならない多様な苦勞があります。

そのため避難所や仮設住宅に入らずに、家族とあるいは単身で、危険な半壊住宅での生活を続けるをええない、といった難しい状況に陥りがちなのです。

そんな中、特に大山さんの働きが始まった9月以降に支援の要請が多かったのは、精神障がい

の方の生活再建の課題でした。精神障がいの方々

は、他者との人間関係づくりが難しいこともあって、地域の中で孤立しがちで、見た目に障がいがあるとは判りにくいため、さまざまな支援から見過ごされがちなので

も、大山さんも、事務局の働きをこなしながら積極的に現場にもかわり、役場への同行、不動産屋廻りから、家の片付け、引越の荷物運びなどにも汗を流してください

ています。



健軍教会避難所 食前の祈り



チャイルド・ファンド・ジャパンとルーテル幼保の協議

走っても、もはや被災地であることを感じにくくなりつつあります。

しかし、益城や阿蘇へ目を移せば、あちこちに空き地が広がっているのに、2月現在で公費解体がすんだ家屋はまだ5割に届きません。また建築費用の高騰などから家屋の補修や改築もままならず、仮設で暮らしながら生活再建の見通しの立たない方々、こまやかな支援を必要とする「災害弱者」の方々が

大勢おられるのです。

また、仮設団地やみなし仮設に入居して、地域から切り離されてしまった方々の心のケアも、大きな課題となっています。

熊本も、これから長い「震災後」の生活を生きていきます。しかし、ここにこそ教会の役割があると信じますから、どうぞ息の長い、多様な支援と見守りをお願い致します。「小泉記」

また、ルーテル教会からも、「できたしこルーテル」のメンバーや九州教区内の信徒さんなど、ボランティアとしてセンターに関わってくださる方がおられることは心強いことです。

なお、センターへの大山さんの派遣はまもなく終了しますが、今後も大山さんはセンターの事務局員として働かれる予定です。

被災地では、まもなく震災から1年を迎えようとしています。市内を車で



広安愛児園・こどもL.E.C.センター避難所支援



### 「カトリックとルーテルの共同声明」に学ぶ①

石居基夫  
(日本ルーテル神学校校長)



2016年10月31日、スウェーデンのルンドにて行われたローマ・カトリック教会(以後カトリック教会)とルーテル世界連盟(LWF)の「共同の祈り」の礼拝において、2017年の宗教改革500年を共同で覚えるに当たっての声明文が公にされた。この声明はフランススコ教皇とユナンLWF議長が署名をして発表されたのだ。少しずつ、この声明文を読んで

2016年10月31日、スウェーデンのルンドにて行われたローマ・カトリック教会(以後カトリック教会)とルーテル世界連盟(LWF)の「共同の祈り」の礼拝において、2017年の宗教改革500年を共同で覚えるに当たっての声明文が公にされた。この声明はフランススコ教皇とユナンLWF議長が署名をして発表されたのだ。少しずつ、この声明文を読んで

「わたしにつながっていない。わたしもあなたがたにつながっている。ぶどうの枝が、木につながっていないければ、自分では実を結ぶことができないように、あなたがたも、わたしにつながっていないければ、わたしも実を結ぶことができない。」(ヨハネによる福音書15:4)

## 新任教師あいさつ

中島和喜 (なかじまかずき)  
(日本福音ルーテル札幌教会・恵み野教会)



この度、日本福音ルーテル教会に任用されました中島和喜です。任地は北海道特別行政区の札幌教会(札幌市)と恵み野教会(恵庭市)になりました。生まれ故郷である北海道が牧師として歩む最初の任地として示されたことを嬉しく

思います。教会が受け入れてくださったこと、そして何よりもその場所に召し出してくださった神様に感謝し、キリストがもたらす平和の実現のため一所懸命にやっています。現在私は26歳ですので、最初の数年は恐らく最年少牧師として過ごすことになると思います。知識も経験も不足していますが、若さを生かして北海道の広い大地に福音を届けるため元氣一杯に駆け回って

「わたしにつながっていない。わたしもあなたがたにつながっている。ぶどうの枝が、木につながっていないければ、自分では実を結ぶことができないように、あなたがたも、わたしにつながっていないければ、わたしも実を結ぶことができない。」(ヨハネによる福音書15:4)

いきたいと思いますので、どうぞよろしくお願い致します。

奈良部恒平 (ならぶこうへい)  
(日本福音ルーテル高蔵寺教会・復活教会)



主の尊い御名を讃美いたします。

4月1日をもちまして、復活教会(名古屋市中)と高蔵寺教会(春日井市)へと赴任することになりました。妻と2人の子どもたちを連れて、愛知

みことばが示されること、カトリック教会とルーテル教会とが、互いを等しくキリストに結ばれ、キリストに生かされて豊かな実を結ぶものであるように呼びかけられている存在として認め合っていることが示されている。

## J3新任あいさつ

ランダル・タレント



はじめまして。私はタレント・ランダルです。今年4月から九州学院で英語を教えています。また熊本県の教会のコミュニティにも加わりました。私の仕事は英語を教えることだけではありません。日本福音ルーテル教会(JELC)とアメリカ福音ルーテル教会(ELCA)にはすでにパートナー関係がありま

す。今年4月から九州学院で英語を教えています。また熊本県の教会のコミュニティにも加わりました。私の仕事は英語を教えることだけではありません。日本福音ルーテル教会(JELC)とアメリカ福音ルーテル教会(ELCA)にはすでにパートナー関係がありま

に変わったのが、カトリック教会の大転換だったと言っていた。1962年から65年まで開かれた第二バチカン公会議は、カトリックのみならず世界のキリスト教会に大きな影響を与える会議となった。カトリック教会は、この4年にわたる公会議で、現代世界のなかに新しい教会の姿を求めて大きく舵を切ったのだ。



ですが、JELCとELCAのメンバー同士はなかなか会うことはできません。ELCAのJ3プログラムは、JELCのコミュニティの中で世界のクリスチャンとの仲間づくりをしています。ですから私は日本福音ルーテル教会でクリスチャンの友情を作りたと思っています。どうぞよろしくお願いたします。

熊本から、はじめまして！エマ・ネルソンとい



リダ州の教会員たちも日本の人や文化について学びたいと願っている。私は日本にいます。写真やビデオを撮ったりして送りたいと

て！エマ・ネルソンとい。4月より、ルーテル学院中等高等学校で英語の教師の仕事に就きます。英語以外は、神水教会の牧師や会員と共に働き、色々なバイブルスタディーを担当します。熊本のコミュニティに参加するのを楽しみにしています。出身のフロリダ州の教会員たちも日本の人や文化について学びたいと願っている。私は日本にいます。写真やビデオを撮ったりして送りたいと

に、みことばが招いているのだ。だからこそ、今、改めてこのみことばに聞くことが示されている。教会はたとえ教派が異なっても、キリストに連なるものとして認め合えることが何よりも大切なのだ。

※ルーテルアワー・さあなの部屋より「は紙面の都合により休載いたします。」